

京都文教大学

KYOTO BUNKYO UNIVERSITY

教育後援会

2023

Newsletter

No.1



京都文教大学
ホームページ



INDEX

学長よりご挨拶／教育後援会会長よりご挨拶／就職進路課より／学生課より／フィールドリサーチオフィスより／
教務課より／図書館だより／事務局お問い合わせ先一覧／京都文教大学 INFORMATION／教育後援会事業
計画／教育後援会役員会議事録／教育後援会総会／教育後援会役員名簿／大学役職者一覧／教育後援会決
算報告／教育後援会予算報告／教育後援会規約

●表紙写真／4月、新学期のキャンパスにて楠の大木を囲み、昼休みに新入生歓迎の「クラブ紹介」を開催しました。コロナ禍前のにぎわいが戻ってきました。

編集・発行 京都文教大学教育後援会事務局(総務課内) 〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80

教育後援会ホームページ : <https://www.kbu.ac.jp/kbu/koenkai/index.html>

学長よりご挨拶

京都文教大学 学長 森 正美

平素より、京都文教大学の教育活動に格別のご理解とご協力を頂戴しておりますことに、大学を代表して深く感謝を申し上げます。

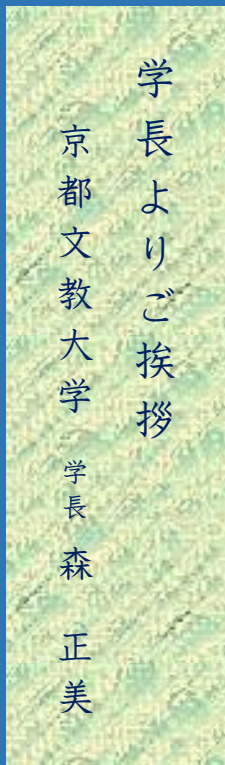
世界を大混乱に陥れたコロナ禍も新たな段階に入りました。また、また油断することはできませんが、私たちの生活も様々な変化に対応しながら新たな価値観やスタイルを取り入れていかなければならない状況を迎えています。

一九九六年開学の本学は今年度で開学二十七周年、卒業生も一万人を超えることになりました。二〇二三年五月一日現在、三学部三学科十一コースと大学院の研究科に約二、〇〇〇名が在学し、建学の理念「四弘誓願（しごげいがん）」、「ともいき」のもと、全ての学生にとって、また保護者、地域住民、行政、企業の方々など、本学と関わる全ての人々にとって、互いが認め合い生かし合い、ともに生き生きすることができる社会の実現を目指しています。

現在、コロナ禍前に入学した学生が四年生になり就職活動に取り組み、再開された協定校との交換留学、学外での実習やフィールドワーク、インターンシップなど、学生たちの活動も多彩に展開されています。一時は停止を余儀なくされたサークル活動や、地域でのプロジェクト活動も活発になっており、昨年手探りで再開された学園祭「指月祭（しげつさい）」の準備も順調に進んでいます。

一方で、コロナ禍以降、急速に進展したデジタル化（DX）のスピードも加速しており、ChatGPTなどAIによる生成技術も日常的なツールの一部になってきています。従来のPCスキルだけではなく、データに基づいた論理的思考を養う「データ・サイエンス教育」が求められており、本学でも文部科学省の認定対象科目を開講し、今後も充実を図る予定です。今年度の入学生から、BYOD（PC必携）を実施し、学習機会の充実に取り組んでいます。

このように多様化する社会状況の中で、本学では『学生まんなか大学』を今年度の教職協働の合い言葉に、教職員の間が見える規模感を強みとして、学生一人ひとりの課題や将来の希望に寄り添いながら、ともに将来の可能性を広げるために何ができるのかを模索しています。学生の数だけ個性も進路も違ってきますので、なかなか行き届かない点もあるかと思いますが、



共に学び合う「ともいきコミュニティ」の姿勢を忘れず、学生の成長を支えるユニバーサルデザインの学習環境を整えていきたいと考えています。どうぞ遠慮なくご相談、ご意見をお寄せください。

さらに複雑化する社会の中で、現場に即して求められる実践力を高め社会で活躍する人材を育成するために、二〇二四年四月から『総合社会学部・実践社会学科』を新設し、企業や行政など、社会的なプロジェクトを軸にした学びを展開していきます。グローバル時代の教育に適応する教員の養成のために、英語科教員の資格取得も可能にする『小中英語教育コース』を新設する予定です。地域との信頼関係や先進的な探究型プロジェクト活動・研究教育の実績を活かしたこれらの教育改革により、今年度より設置した臨床心理学部・研究科の五年一貫教育を実現する「早期卒業制度」も含め、三学部四学科十二コース、一研究科による充実した教育を進めていきます。期待を持って入学して頂いた学生一人ひとりが迷い悩みながらも、卒業時には納得のいく就職・進路決定ができるように、また人生の先で悩んだ時に本学での学びを活かして頂けるように、教職員一同サポートしていきます。

とはいえ、社会経済状況が不安定な中、ご家族も含めて困難な状況に陥る学生も少なくありません。教育後援会の皆様のご支援も頂戴しながら、学生たちの学びの継続を支援していきたいと考えていますので、どうぞ今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、本学では数多くの公開講座やイベントなどを学内外で開催しています。教育後援会の会員の皆様におかれましては、お子様の成長と共に支える大切なパートナーであるばかりでなく、生涯学習社会が到来する中、講座や研修など大学が提供する場にもぜひご参加頂き、ご自身にとっての学びや成長の機会としてご利用頂ければと思います。今後とも、京都文教大学へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

教育後援会会長よりご挨拶

京都文教大学教育後援会

会長 山口辰也

京都文教大学教育後援会の会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本会活動に対し、ご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。京都文教大学教育後援会総会において、会長に就任いたしました山口辰也と申します。微力ではございますが、会員の皆様方のご理解とご協力を賜りながら、共に子の成長を願い、少しでも学生生活が充実したものになるよう支援してまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

〈教育後援会事業について〉

京都文教大学の運営に協力・援助を行い、教育研究の発展に寄与するとともに、豊かで充実した安心安全な学生生活を送れるような活動について支援いたします。

- 課外活動補助 [クラブ等活動 地域連携活動など]
- 就職進路支援 [資格に関する講座、公務員講座、学習支援室の補助など]
- 学生生活支援 [トレーニングルーム運営 災害対策補助など]
- 教育環境整備補助 [PCルーム運営、学生教養図書購入など]
- 奨学費 [京都文教大学教育後援会就学支援奨学金、留学生支援]
- 式典・行事補助 [卒業アルバム作成、卒業祝賀会（非開催時は記念品）など]

〈教育後援会イベントについて〉

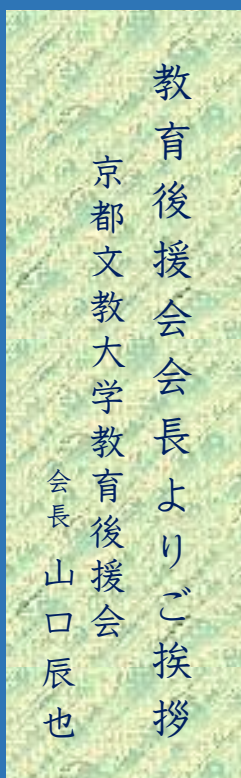
教育後援会では、就職や進路に関する「講演会」や最近の大学の様子や、父母からの相談に教職員が答える交流の場として「学科別懇談会」を企画・開催しております。


※ 例年、五月下旬と十一月月上旬（大学祭開催日）に実施

直近になりましたらまたご案内いたしますが、是非、京都の宇治のキャンパスにお越しいただき、お子様の学生生活について会員相互の情報交換ができる場として、参加いただければと存じます。

〈会報「ニューズレター」等について〉

学生生活や課外活動等の状況の情報提供として、教育後援会会報「ニューズレター」の発行（年二回）、さらに京都文教大学ホームページの「Facebook」「Instagram」「X」では、学生生活の様子などを随時配信しております。併せてご覧ください。





就職進路課より

1. 2022 年度 卒業生の進路就職状況

2022 年度卒業生の就職環境については、新型コロナウイルス感染の影響による採用活動の抑制から回復し、採用計画に積極的な企業が増えました。ただし、早期に内定を得る学生と内定に繋がらない学生との二極化は相変わらず顕著で就職活動の長期化を招きました。このような状況の中、2022 年度卒業生の就職決定率は 97.1% (昨年度 92.9%) と大幅に改善し、進学決定率は、88.9% (昨年度 92.3%) となりました。学部、学科別については以下の通りです。

	総合社会学部	臨床心理学部 臨床心理学科	臨床心理学部 教育福祉心理学科	計
進路決定率	167/198 84.3 %	113/143 79.1 %	83/88 94.3 %	363/429 84.6 %
就職決定率	163/167 97.6 %	89/94 94.7 %	79/80 98.8 %	331/341 97.1 %
進学決定率	4/4 100 %	24/28 85.7 %	4/4 100 %	32/36 88.9 %

※進路決定率=進路決定者(就職者+進学者)÷卒業者

※就職決定率=就職決定者÷就職希望者

※進学決定率=進学者÷進学希望者

2. 2023 年度 4 年次生の就職活動状況

前年度同様、2023 年度も企業側の求人広報活動開始日は 3 月 1 日以降、選考活動開始日は 6 月 1 日以降となっていますが、実態は 3 月 1 日以前から広報活動を行う企業が増え、選考活動も早期化しております。新型コロナウイルスの影響以降の採用活動は、企業説明会や選考方法のオンライン化への取り組みが随分と浸透し、デジタル化への対応が企業側だけでなく、学生側にも求められています。ただし、2023 年度は人の移動制限もなくなり、求人企業側は「対面」での人物評価へ戻し、採用選考を行う手法も行われています。経済活動の回復基調、インバウンド効果を見越したサービス業の人員確保など、学生優位の状況ではある一方、優秀な学生を早期に採用し、上半期で求人を終了する企業があるなど、企業毎で差異があります。引き続き今後も採用継続を行う企業から、本学への一定の求人情報を保有しております。

就職進路課では学生へのメールやオンラインに加え、対面での進路就職相談や履歴書の添削、模擬面接の実施、求人情報の個別案内等、きめ細かな就職支援を続けておりますので、積極的に就職進路課を活用するようご助言いただけますと幸いです。



主に大学 3 年生を中心に学内で企業の方との交流会(ワークショップ)

3. 2023 年度 3 年次生の進路支援

3 年生になり、学祭や課外活動などが活発になってきた学年です。一方で学生生活の前半は制限がある中、社会経験や対話機会が極端に少なく、企業側もその点をどのように考えての採用方針となるのか引き続き注意しています。採用手法や時期は多様化しており、オンライン選考、対面選考とも対策を行うため、就職進路課では就職活動対策として多くの講座やセミナー、イベント等を準備しています。3 年次生には積極的に参加いただき、自己分析、業界・企業研究、模擬面接、さらに筆記試験の準備も万全にした状態で、本番に備えてもらいたいと考えています。

現 3 年次生の 2024 年度就職活動スケジュールについても今年度と同様ですが、過去から取り決め通りのスケジュールで採用活動を行う企業は少なく、前倒しする企業がさらに増加しています。3 年次生には就職ガイダンス(公務員志望者も参加推奨)を 4 月～1 月に開催し、秋学期からの本格的な就職活動の準備をすることになります。公務員志望者については、例年 4 月中旬から 9 月中旬に

かけて職種毎に採用試験が実施されます。最終合格に向け、1年次生からの課外講座(1年次は公務員講座入門編・初級編、2年次は公務員講座中級編・上級編、3年次は公務員講座上級編)を受講するなど計画的な対策が必要です。

教員・保育士志望者につきましても、課外講座を受講するとともに【教職・保育福祉職サポートセンター】の積極的利用を促してください。大学院志望者については、募集要項の入手や過去問題の確認、オープンキャンパスに参加等、志望校選びや受験対策講座、ガイダンス等、計画的な対策を支援できるよう随時メールを中心に案内します。

4. 課外講座・学習支援室、資格取得講座

就職進路課では、一般企業・公務員・教員・保育士・大学院進学など、希望進路に応じた体系的な課外プログラムを準備しています。1年次生からの計画的な受講をお薦めしていますが、年次途中からの受講も可能です。受講料は無料です。(別途、教材費は必要です)

また資格取得に関する講座も以下の通り開講しています。積極的に活用してください。

- 公務員対策講座
- 一般企業就職希望者向け適性試験(SPI)対策講座
- 教員希望者向け採用試験対策講座
- 心理系大学院進学対策講座

5. インターンシップ

インターンシップとは「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」です。これまでの参加者は3年次生が中心でしたが、近年2年次生の参加者が増えています。本学では、正課(単位確認)科目として特色のある3つのインターンシッププログラムを提供しています。

- インターンシップ(大学コンソーシアム京都)
「大学コンソーシアム京都」の主催するプログラムに参加する科目です。一般企業、官公庁、非営利組織などさまざまな「就業現場」において「現場力」を養います。
- 地域インターンシップ
本学独自のインターンシップとして、京都市伏見区、宇治市、城陽市、久御山町、精華町、宇治田原町等、京都府南部地域を中心とした企業、自治体、NPO法人等を実習先とする地域密着型プログラムです。
- 海外インターンシップ
海外の企業や非営利組織等での就業現場に関わることで、グローバルな視点で「働くこと」を考えることができます。
(※本年度は中止となりました)

就職進路課では、就職だけではなく進学やその他の進路についても全面的にサポートしています。また学生からの相談対応につきましてはメールの他、WEB面談での支援も行っております。不安なことがございましたら気軽に就職進路課を訪ねるようご指導いただければ幸いです。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

就職部 部長 兼 就職進路課 課長 名塩 匡
係長 代崎 拓也
鈴木 國世
石川 明子
鈴木 裕翔
竹田 麻里
室田 由紀



学内で実施の企業研究フェア



模擬面接の様子

学生課より




今秋のKBUキャンパス イベント（学生交流機会）・課外活動のご案内
秋学期の予定



日程	イベント名	備考
<p>9月18（月・祝）・ 19日（火）</p>	<p>還愚（げんぐ）セミナー 和歌山県高野山 遍路と参拝</p>  <p>「還愚（げんぐ）」とは、仏教用語で「自分のおろかさ・限界を自覚する」という意味があり、還愚セミナーでは、歩き遍路を通して、自分の無知・弱さを改めて自覚し、自己の学生生活を考えるキッカケとなることを目的としています。</p> <p>日常生活の中では、感じることのできない感覚や経験を積み、生きる力を習得してもらうことを意図しています。</p>	<p>宗教委員会主催、学生課 ※学生・教職員の参加可。</p>
<p>9月21日（木）～</p>	<p>学習・学生生活支援サポートルーム</p> <p>出入り自由（入室予約不要） 自習や休憩の居場所、学習サポーター支援（予約制）</p>	<p>全学生利用可 サポート&管理： 学生サポーター、学生課</p>
<p>10月11日（火）</p>	<p>秋学期 衛生（環境整備） 委員活動スタート</p> <p>衛生委員を委嘱された学生の 構内消毒作業や、キャンパス環境整備など。</p> 	
<p>10月中旬～</p>	<p>ランチョンミニセミナー開催 （隔週水曜・昼休み30分・於 サロン・ド・パドマ）</p> <p>契約って何／資産形成の基礎／消費者金融トラブル／労働の話（ブラックバイト等）以降、順次開催</p>	<p>担当 京都司法書士会など ※学生・教職員の参加可。</p>


日 程	イベント名	備考
10月～12月	<p>パン・おにぎりの配付 (週3回)</p>  <p>物価高の昨今、食費を抑えがちな学生に朝食を食べて授業を受けてほしいという目的で、パンやおにぎり、野菜ジュースを先着40名に配布予定です。</p>	
11月11日(土) 12日(日)	<p>指月祭(しげつさい) テーマ「GROW UP」</p> <p>指月祭実行委員会より： テーマである「GROW UP」には成長するという意味があります。昨年度は3年ぶりに指月祭が開催され、試行錯誤をしながら運営しました。今年度はさらにレベルアップした姿を見せたいという思いが込めています。若葉を芽吹かせ成長していく木々の新緑をイメージし、新たな学園祭をつくろう！と、テーマとテーマカラーを決めました。</p> 	<p>大学祭実行委員会主催(イベント・タレント・ステージ・模擬・情報宣伝・執行部・装飾部)</p> <p>*学生・保護者・一般の方 来場可</p>

秋学期活動の様子は次号ニュースレターにてご報告いたします。




今春のKBU キャンパス イベント(学生交流機会)・課外活動のご報告

春 学 期 の ご 報 告



日 程	イベント名	備考
4月～5月	<p>4/4 新入生歓迎会 クラブ・サークル紹介</p> <p>4/27 下宿生のつどい サロン・ド・パドマにて下宿生の集い(大学学生自治会、短大友会、学生課共催)を開催しました。</p> 	<p>学生自治会 中央執行委員会 クラブ連合協議会</p>

	<p>オープニングに司会進行役2名で「うちのおかんが京都の大学の名前を忘れた」「それは京都文教大学に間違いない」「それなら違うか」という聞きなれたフレーズの漫才を披露。続いて大学森学長、短大森井学長よりご自身の一人暮らしの体験を交えたご挨拶を頂戴しました。</p> <p>健康管理センターからの体調管理・とっさの処置のレクチャーの後は、下宿生+有志のメンバーが班に分かれ、自己紹介。班対抗にてゲームで得点を競いあいました。</p> <p>コロナ禍では難しかったお弁当タイムも設けられ、課外活動団体の紹介を聞きながら参加者は食事を楽しみました。</p> <p>5/29 新入生のつどい</p>	
5月18日～21日	第9回全日本大学女子硬式野球選手権出場	女子硬式野球部
7月6・7日	<p>涼暮祭 (すずくれまつり)</p> <p>7月6・7日、大学祭(指月祭)のプレイベントとして七夕の季節に開催されてきた「涼暮祭」が8回目を迎え、2年のブランクの後、開催されました。</p> <p>昨年は小規模感染対策優先での小規模開催でしたが、今年は一般来場可とし、楠のロータリーにも模擬店が出店されました。同唱館、ロータリー、サロン・ド・パドマと会場を拡げ、楽しいゲーム・クイズ企画・ステージ発表とパワーアップして、参加者を迎え、当日は、予想以上に、参加学生が多く、初夏の夕暮れの宇治キャンパスに、夏祭りの賑わいが戻ってきました。</p> <p>大学祭実行委員会は、熱中症、感染症等の対策を講じつつ、参加者との楽しい時間を作りあげました。</p>	<p>大学祭実行委員会 *学生・一般の方来場</p> 
7月8日	Sailing KOBE	風竜舞伝
7月11日	熱中症勉強会 (7月クラブ連合協議会総会)	クラブ連合協議会 ※クラブ・サークル対象
7月18日	ランチオンセミナー (熱中症対策) 全学生対象	健康管理センター
7月19・20日	eスポーツ大会 於：サロン・ド・パドマ	学生自治会中央執行委員会 ※申込学生
8月	軟式野球部より日本代表選手が選出 台湾遠征 (12月6日～12日)	神野 樹さん
8月20日	小野まつり おの恋おどり	風竜舞伝(ひまわり賞受賞)、文舞蘭
8月23日～27日	全日本女子硬式野球選手権大会出場	女子硬式野球部

「相談したいな」と思ったら...

それぞれの相談内容に合わせてリンクに飛べます。
まずは相談予約を入れてみませんか？



あなたの相談ごとは何ですか？

- 1 健康面での心配がある** (病気のこと・服薬について・ケガについて...等)
→ [健康管理センター](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文にお名前と相談内容を書いて送信してください)
- 2 心の面での心配がある** (イライラや落ち込み・誰にも話せず悩んでいる...等)
→ [学生相談室](#)へ
(↑をクリックするとHPIにリンクしています。その中の「お問い合わせ」からご連絡いただけます)
- 3 病気や障がいなどにより授業で困っていることがある**
(欠席が多くなる・提出期限までに課題ができない・人前で発表できない・教室に入れない...等)
→ [障がい学生支援室](#)へ
(↑をクリックすると面談予約ができます)
- 4 学生生活のことで悩みがある**
(奨学金・経済面の悩み・課外活動・アルバイト・休学や退学...等)
→ [学生課](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文にお名前と相談内容を書いて送信してください)
- 5 大学内でのイジメや嫌がらせについて悩んでいる**
(学生どうしのイジメや嫌がらせ、先生から学生へのハラスメント...等)
→ [キャンパスハラスメント相談室](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。本文に相談内容を書いて送信してください)

学生生活の充実に向けて - 教育後援会奨学生として -

教育後援会奨学金をご給付いただきました学生より、感謝の声をいただきました。この場をお借りして掲載させていただきます。

臨床心理学科 三年次生

一年半ほど前に家計が急変してから、今までに教育後援会奨学金の給付を二回受けました。私立大学の学費は、高校まで公立の学校にしか通ったことのない私にとっては、決して安いとは言えない金額です。そんな裕福という言葉とは程遠い私がこの大学で学ぶことができているのは理由があります。それは、学費を納めてくれている家族がいること、奨学金を給付していただいていることです。奨学金の給付を受けてから、お金の重さを知りました。それまでの私は、家族に学費を払ってもらったのが当たり前だと思っていたのかもしれない。少しでも負担が減ることがどれだけ有難いことなのかを、奨学金の給付によって感じるようになりました。

私は、公認心理師の資格取得を目指しています。そのためには大学院への進学が必要で、その分お金もかかります。それを認めて応援してくれる家族には、本当に感謝しかありません。将来の夢を諦めずにいられるのも、周りの人の支えがあったからこそだと思います。平日は毎日のように大学に行き、休日はアルバイトに時間を費やしている私は、正直、家族を支えてくれている人の役には立てていないのではないかと思っています。この秋学期から実習が始まるので、まだまだ気を引き締めて学習に取り組んでいきたいです。また、いつか周りの人に恩返しができるよう、それ以上に何かを与えられるよう、日々学びを深めていこうと思います。

こども教育学科 三年次生

私は教育後援会奨学生に二回選んでいただきました。私の家は母子家庭により家庭的にはとても困窮しています。それだけでなく、私は高校から私立に行っており、奨学金を受けています。もちろん、自分が選択して私立に行ったので後悔はありません。しかし、自分の時間はあまり作れません。その理由として、将来的に奨学金を返していけるのが不安なため、バイトの数を増やして将来のための安心材料として貯金をしています。二回の教育後援会奨学金により、私にも余裕が少しできました。この奨学生に選んでいただくことで私の大学生活が充実したものになりました。これまで、大学生活を楽しむ時間がありませんでしたが、友達との時間が増えました。それにより、これまで講義内でしか関わりがなかった人と講義以外で話すことができるようになり、友達が増えました。

また、勉学では、大学内で行うことは欠かさず行ってきたのですが、自宅で行う復習や予習、将来の勉強があまり出来ていませんでした。しかし、時間が作れるようになり、自宅で行う勉強が各々の講義で出される課題だけでなく、次の講義内容の予習や、今日受けた講義の復習が出来るようになりました。最も変化したのは、将来の小学校の教員になるための勉強が出来るようになったことです。自分のなりたい職業の勉強が疎かになつていたので、教育後援会奨学生に選んでいただけたことは、自分の大学生活だけでなく、これからの自分の道を導いてくれる手助けになっています。

総合社会学科 二年次生

この度は教育後援会奨学生として採用していただき、誠にありがとうございました。

私の家庭は五人家族で大黒柱である父が体調を崩してしまい、学費の支払いがままならない状態でした。そのため昨年の私は、学費や生活費を稼ぐため二つのアルバイトを掛け持ちしており、勉強をする時間が満足に取れず単位を落としてしまうことが何度もありました。ですが、今回の教育後援会奨学金に採用されたことにより、アルバイトの時間を減らすことができ、二年次の春学期は全ての単位を取得することが出来ました。勉強に費やせる時間が増えたこと感謝しております。

二年次になり、コースコアなどの私が学びたかった専門的な知識を知ることが出来るようになりました。勉強に集中できる時間が持ったことは私の将来に深くかわつてくると思います。この恩（支援）を忘れずに、より充実した大学生活になるよう励んでいきたいです。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。



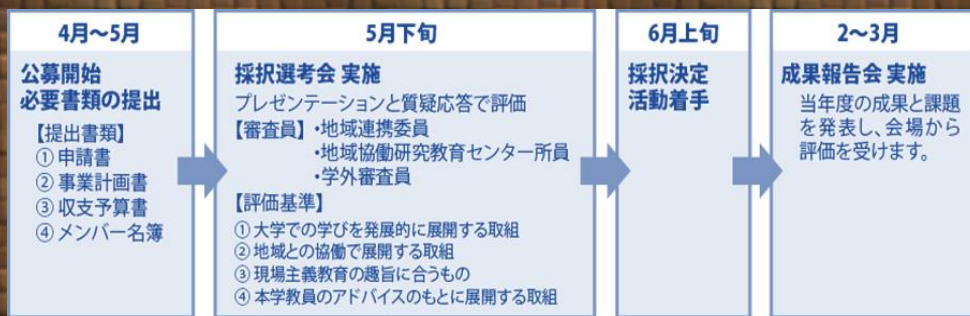
フィールドリサーチオフィスより

① 地域連携学生プロジェクト

本学では、地域に根ざし、地域に学び、地域への貢献を目指す本学の教育研究目標を達成するために、まちづくりや地域おこしなどへの学部、学科を超えた主体的な取組を行っています。実習や演習などの延長にあり、大学での学びを発展的に展開するような取組、地域の住民・行政機関・地元企業・団体等との連携、協働で展開する取組を「地域連携学生プロジェクト」として選定し、支援、助成することで、学びと地域貢献を両立させる場として本活動を推進しています。

(2007年度～2022年度採択プロジェクト数：延べ100団体)

2023年度も、4月から学内にて申請を募り、その後5月31日に採択選考会を実施しました。審査は、京都文教大学地域協働研究教育センター員と地域連携委員の教員、学外審査員が担当し、採択の可否を決定しました。2023年度は、新規1件を含む、6つのプロジェクトが採択され、2024年3月まで活動に取り組みます。



◆◆◆ 地域連携学生プロジェクト 2023 採択プロジェクト ◆◆◆

宇治 ☆ 茶 レンジャー

活動期間：2010年度～ アドバイザー教員：森 正美（総合社会学部総合社会学科教授）

事業実施地域：宇治市、京都市伏見区、京都府内や府外の茶産地

地域/パートナー（連携先）：公益社団法人京都府茶業会議所、京都府茶協同組合、中宇治エリアのお茶屋さん

メンバー数：22名

活動内容：

急須で淹れる宇治茶の美味しさや楽しさを伝えることを目的に、学生たちが宇治茶を学びそこで得た魅力を発信する取組を行っています。宇治市や伏見区で行われるイベントで、お茶を淹れるコツを伝えるワークショップを多数開催しています。

また、毎年実施している「宇治茶スタンプラリー」は1,000名以上の参加者がある人気イベントとなっており、今後は、スタンプラリーの実施に向けて、お茶さんと連携しながら活動を進めていきます。



商店街活性化隊しあわせ工房 CanVas（キャンバス）

活動期間：2014年度～ アドバイザー教員：片山 明久（総合社会学部総合社会学科教授）

事業実施地域：宇治市（宇治橋通り商店街）

地域/パートナー（連携先）：宇治橋通り商店街振興組合、宇治市秘書広報課、宇治市観光振興課、公益社団法人宇治市観光協会

メンバー数：30名

活動内容：

宇治橋通り商店街振興組合のご協力のもと、宇治橋通り商店街の活性化活動に取組んでいます。宇治橋通りで開かれる「スマイルサタデー（8月）」や「わんさかフェスタ（10月）」では、子どもを対象にしたワークショップなどのブースを設置し、お祭りを盛り上げています。

また、宇治市秘書広報課と連携し、市民を対象にした写真公募展の開催や、2024年1月からの放映が予定されているNHK大河ドラマ「光る君へ」（宇治市にゆかりある紫式部を主人公としたドラマ）をテーマにしたロゲイニング（写真を使ったまちあるきスポーツ）の企画など、商店街のみならず行政や観光協会と連携した取組を進めています。



KASNEO (カサネオ)

活動期間 : 2018年度~ アドバイザー教員 : 黒宮 一太 (総合社会学部総合社会学科准教授)
事業実施地域 : 宇治市
地域/パートナー (連携先) : 宇治市健康長寿部長寿生きがい課、北槇ハーモニー、京都府立京都すばる高校
メンバー数 : 12名
活動内容 :



「ファッション」を通じて幅広い世代が交流できる場を提供することを目的に、結成されたプロジェクトです。
着なくなった服 (若い頃に着ていた服) を「思い出」と共に、高齢者から提供いただき、それに学生が今の感覚で着こなしを考え、ファッションショーや展示会、雑誌などで紹介していきます。本学と宇治市が連携して取り組む「宇治市高齢者アカデミー」の受講生や卒業生もシニアメンバーとして加わり、高齢者と一緒に活動を進めています。また、近隣にある京都府立京都すばる高校のゼミと連携し、高校生が家族の思い出の衣服を調べ、それを使ったファッションショーを企画するなど、若い世代との交流も深めています。

REACH (リーチ)

活動期間 : 2019年度~ アドバイザー教員 : 松田 美枝 (臨床心理学部臨床心理学科准教授)
事業実施地域 : 京都市伏見区・宇治市・京田辺市
地域/パートナー (連携先) : 特定非営利活動法人京都ダルク、就労継続支援 B 型事業所三休
メンバー数 : 13名
活動内容 :



「当事者」をキーワードに、様々な人々のあいだの「見えない壁 (障壁)」を交流や体験・対話などを通して、少しずつ取り払うことをひとつの目標にしています。視覚障害のある人の見え方を体験するワークショップや、薬物依存症回復支援施設「特定非営利活動法人京都 DARC」の利用者と一緒にものづくりを行いその商品を地域のバザーで販売するなど、当事者と関わることを大切に活動しています。

KminK (クミンク)

活動期間 : 2022年度~ アドバイザー教員 : 黒宮 一太 (総合社会学部総合社会学科准教授)
事業実施地域 : 久御山町
地域/パートナー (連携先) : 久御山町総務部企画財政課、久御山町内の自治会・町内会、KUMIDAN
メンバー数 : 28名
活動内容 :



久御山町役場と連携し、まちづくりや自治会活性化に取り組んでいます。「久御山町とリンクする = Kumi yama + LINK」から「KminK」と名づけました。

自治会や町内会の困りごとについて、学生が住民と一緒に考え解決策を探ったり、町や自治会主催のイベントと一緒に盛り上げる活動を行っています。今年度は、初めての試みとして、秋に久御山中央公園でのイベントを企画しています。このイベントは、京都府立久御山高校生徒会と連携し、町やまちづくり団体の協力を得て、世代を超えた住民が楽しく交流することを目的に実施します。

lemon tree

活動期間 : 2023年度~ アドバイザー教員 : 平尾 和之 (臨床心理学部臨床心理学科教授)
事業実施地域 : 宇治市
地域/パートナー (連携先) : 宇治市健康長寿部長寿生きがい課、宇治市福祉サービス公社、京都府立洛南病院
メンバー数 : 4名
活動内容 :



宇治市と本学とが協働で取り組んでいる「認知症の人にやさしいまち・うじ」を実現するための取組「れもねいど」に関わってきた学生たちが、今年度新たに立ち上げたプロジェクトです。

この活動をより多くの人に認知してもらい、その輪を広げることを目的としています。定期的に行われる「れもねいどグループミーティング」への参加を通して、認知症当事者や家族との対話を行い、そこで出たアイデアを学生が橋渡し役を務めながら実現できるよう進めています。

② 高大連携・接続

本学では、さまざまな高校と連携をし、高校生と大学生と一緒に学び合うことで、相互の気づきや成長を促す機会を設けています。また高校と大学が「今後の社会を担う人材とはどういったものか」「よりよい教育とは何か」を一緒に考え、実践することで高校教育と大学教育の「接続」も進めています。

特に、高校の進路学習や「総合的な探究の時間」などの実践的な学びにおいて、連携を進めています。

具体的な取組については、右記の本学特設サイトにて発信しておりますので、是非ご覧ください。



【高大連携・高大接続特設サイト】

③ 企業・行政等の連携

宇治市、京都府山城広域振興局、久御山町、精華町、宇治商工会議所、城陽商工会議所、久御山町商工会、城陽市、京都市伏見区、一般社団法人京都中小企業家同友会と包括連携協定を締結しています。また、本学独自の地元企業、事業所、行政、経済団体等とのネットワーク「京都文教ともいきパートナーズ」には、82事業所（2023年9月現在）の登録があります。

まちづくり活動や地域における調査・研究、人材育成、産業振興、子育て支援、生涯学習の推進等、さまざまな分野において連携し、共に「ともいき（共生）キャンパス」の創造に取り組んでいます。

④ 各附置機関 紹介

○京都文教大学心理臨床センター

地域に根ざした市民サービスを提供する場として開設された心理相談・研究機関です。

また本学の臨床心理学部・臨床心理学研究科の学内実習機関も兼ねており、教員や現場の専門家の指導・アドバイスを受けながら先輩の大学院生がカウンセリングに日々奮闘しております。

○京都文教大学地域協働研究教育センター

「地域における本学の教育、研究、社会貢献を一体化し、地域・学生・教職員を巻き込んだ総合的な取組を推進し、その成果を本学の教育活動や地域の発展に還元、寄与することを目的として平成26年4月1日「地域協働研究教育センター」が設立され、教育・研究・社会貢献活動に取り組んでいます。

○産業メンタルヘルス研究所

産業メンタルヘルスに臨床心理学の知見を活かすための研究所として、2008年に設立されました。職場のメンタルヘルスに関する調査・研究、プログラムの開発・提供、大学院教育の中で高度専門職業人の育成に取り組んでいます。

また、各種講座の開講を通して、臨床心理士・公認心理師をはじめとする産業メンタルヘルス分野の専門職が、職種の違いを越えて研鑽する機会を提供すると同時に、いきいき働く職場をつくるヒントを産業メンタルヘルスの見地から提案する公開講座を企業・行政の人事・総務担当者、経営者向けに開講しています。

⑤ 公開講座やイベント等の案内

京都文教大学では学部特性を活かした公開講座をはじめ、京都文教大学教員と自治体職員、団体・企業、地域住民が研究員として参画し地域課題解決に取り組む地域志向研究による公開講座（ともいき講座）や宇治茶の世界文化遺産登録に向けて京都府と共催する「宇治茶文化講座」、他にも本学学生団体によるイベント情報に関するご案内や、教員の講師派遣依頼について、京都文教大学地域協働研究教育センターHP(QRコード参照)にて掲載しておりますので、是非ご覧ください。



【京都文教大学
地域協働研究教育センターHP】

【公開講座・イベント・講師派遣に関するお問い合わせ先】

社会連携部 フィールドリサーチオフィス 電話：0774-25-2630 / メール：fro@po.kbu.ac.jp

教務課より 成績発表の お知らせ

今学期(2023年春学期)の成績について、8月23日に Web ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT (通称:ユニパ)」上で発表を行いました。お子様たちの学修の成果と進み具合をご確認いただき、これからも充実した学生生活をおくられるようにご支援をお願い申し上げます。

今後とも、本学教育活動にご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

本学では、Web ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT (ユニバーサル・パスポート、通称:ユニパ)」にて、成績及び学期期間中の個人時間割をパソコンやスマートフォンからいつでも確認することができます。さらに大学からのイベントや講演会等の各種お知らせ機能も追加され、メールでお知らせを受け取ることもできます。

ユニパへのアクセスにはログイン ID・パスワードが必要になります。ID・パスワードは、入学年度の 5 月頃に本学よりお送りいたしましたハガキに掲載しております。

〈成績・時間割確認方法〉

- ① 保護者向けサイト URL goo.gl/C7H7Sm または 右の QR コード よりアクセスしてください。
- ② 保護者向けサイトの「成績・時間割確認の方法」よりユニパにアクセス、ログインいただけます。
- ③ メールのお知らせ機能は、ユニパへログイン後、右上の[setting]をクリック、左上の[メール設定]をクリックし、受信メールアドレスを入力してください。



保護者向けサイト QR コード

※成績発表後にいくつかの正当な理由(再試験結果の反映、休学による成績削除など)によって発表された成績が変更される場合があることをご承知おきください。

※スマートフォンの場合は、「スマートフォンはこちら」をクリックせず、ID・パスワードを入力してログインしてください。

※パソコン・スマートフォン等のインターネット接続環境をお持ちでない方はご相談ください。個別で郵送させていただきます。

ただし、学期ごとの申し出となります。

春学期成績発表…8月下旬 秋学期成績発表…3月上旬

ご不明な点がある場合は、大学教務課までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉 京都文教大学 教務部教務課 電話:0774-25-2426 / E-mail: educat@po.kbu.ac.jp

—— 教育改善の取り組みについて ——

本学では、教務課が所管する FD 委員会が中心となって、様々な教育改善の取り組みを恒常的に行っています。ここでは、その一例として「授業評価アンケート」による教育改善の取り組みについて、簡単にご紹介したいと思います。

授業評価アンケートでは、毎学期、授業科目ごとに「授業内容をどの程度理解できたか」「その授業で新しい知識や技能を習得できたか」や「総合的な満足度」等々を受講生に段階評価で回答してもらっています。また、自由記述欄も設け、受講生の生の声も聞けるようにしています。たとえば今学期(2023年度春学期)のアンケート結果では、総合満足度の全科目平均は4段階評価で 3.48 でした。これは 100 点満点に換算すると 87 点ということになり、多くの受講生が概ね満足してくれていることがわかります。

もちろん、大学としては 87 点という結果に安心しているわけではありません。100 点でないということは満足してもらえていない部分もあるということですし、あくまで全科目の平均として 87 点ですので、科目によってはもう少し満足度の低い科目もあるということです。また、自由記述欄には受講生からの不満の声や厳しい意見が書き込まれていることもあります。

各授業科目の担当教員は、このような評価結果を貴重な意見として受け止め、自身の授業内容や教育方法等について振り返りを行い、次年度に向けての改善を図っていきます。さらに、カリキュラムの責任者である学科長は、学科で開講する全科目のアンケート結果に目を通し、気になる点があれば、当該科目の担当教員に状況を確認し、必要に応じて助言や指導を行うなどしています。

また、科目担当教員は、アンケート結果を受けて感じたことや改善に向けて考えたこと等を学生たちへのメッセージとして公開します。このメッセージはアンケートに答えてくれた受講生へのフィードバックでもありますし、さらには翌年度以降にその科目の受講を考えている学生の参考情報としても役立ててもらえるものとなります。

以上、授業評価アンケートを活用した教育改善の取り組みについて紹介させていただきましたが、実はひとつ課題もあります。それはアンケートの回答率がそれほど高くないということです。上記のとおり、アンケート結果は授業改善につながる貴重な情報となりますので、学生たちには面倒がらずにしっかり回答してもらえるようゼミ担任から呼びかけるなど大学としても回答率向上に努力していますが、できれば保護者の皆様からもお子様にお声かけいただくなど後押しをしていただくと非常にありがたく存じます。

今後とも引き続き本学の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

教務部長 河本 直樹

図書館だより

宇治キャンパス内には、図書館が三館（普照館・至道館・常照館）あり、約三十二万冊の蔵書を利用することができます。

学生は、三館それぞれのもつ資料の特徴や館内の雰囲気、開館時間の違いを上手く活用し、日頃の自習や居場所として利用しています。

資料の閲覧・貸出だけではなく、DVDの視聴、パソコンの利用、グループ学習など、学生のさまざまな図書館利用に対応するべく環境を整えています。

また、新入生対象図書館ガイダンスやゼミ単位等での図書館利用講習会の実施、学生が大型書店で自ら本を選ぶ企画「学生選書ツアー」や、昨年度から新たに始めた所蔵している名作・傑作映画を上映する「ともいきシネマサロン」の開催、季節や時期に合わせた特設展示コーナーや授業の課題・就職活動・資格取得に役立つ図書コーナー等を適時設けるなど、少しでも学生にとって役立つ図書館であるよう日々工夫しています。

新型コロナウイルス感染症の影響も日々変化する中、図書館では、学外からでも閲覧できる電子ブックや図書館情報管理システムの充実を図り、自宅で学習する学生の支援にも引き続き積極的に取り組んできました。

この新しいシステムでの情報発信に加え、図書館情報誌「あーゆす」、図書館公式エックス(旧ツイッター)、キャンパス内での掲示ポスター等でそれぞれの特徴を生かしたタイムリーな図書館の情報発信に努めています。図書館情報誌「あーゆす」では、学生ライターも募集しており、これまで多くの学生が寄稿してくれています。バックナンバーは、図書館ホームページからもご覧いただけますのでぜひ一読ください。

今後も学生が安心して、快適に利用できるよう図書館運営に努めて参ります。

保護者の皆様におかれましても、地域に開放されている本学図書館をご利用頂きますようお願い申し上げます。

図書館長 遠藤 央

蔵書数(3館合計)【2023年3月31日現在】

一般図書	329,854 冊
絵本・文庫・新書等	71,168 冊
視聴覚資料(DVD・VHS等)	9,023 点
雑誌・新聞等	2,724 種



普照館 1階 図書館



教育後援会より補助を受け、購入、整備したブラウジングエリア

図書館利用証のお申し込み、その他詳細は本学図書館ホームページをご覧ください。

図書館ホームページ <https://opac.library.kbu.ac.jp/drupal/>

事務局お問い合わせ先一覧

受付：平日9:00-17:00まで

部署名	TEL	部署名	TEL
総務課 教育後援会、ファミリー制度、 校友会(同窓会)について など	0774-25-2400	入試広報課 受験の相談、入試イベント オープンキャンパス等)に関する事	0774-25-2488
教務課 授業に関する事 履修登録・時間割・試験・成績、証明書など	0774-25-2426	フィールドリサーチオフィス 地域連携・公開講座、高大連携に関する事 宇治市高齢者アカデミー等について	0774-25-2630
学生課 学生生活に関する事 課外活動・奨学金・休退学・施設物品借用・ 学生相談・障がい学生支援・留学	0774-25-2497	図書館事務室 図書館利用、資料・蔵書について	0774-25-2489
就職進路課 進路に関する事 就職活動、資格・講座など	0774-25-2524	研究支援オフィス 教員研究支援について	0774-25-2494

京都文教大学 INFORMATION



京都文教大学の地域連携や講座の情報

京都文教大学ホームページよりご確認ください。是非ご覧ください。

- 京都文教大学ホームページ <https://www.kbu.ac.jp/kbu/>
→ 地域連携&イベント
- 京都文教大学ホームページ <https://www.kbu.ac.jp/kbu/>
→ KBU 掲載記事一覧：2023 大学公開リスト
- 京都文教大学地域協働研究教育センターホームページ
<https://www.kbu.ac.jp/kbu/tomoiki-center/index.html>



保護者の皆様からの声を受け付ける 専用メールアドレス

京都文教大学では、保護者会の皆様からの声を受け付ける
専用のメールアドレスがございます。

hogoshanokoe@po.kbu.ac.jp

※匿名でのお問い合わせでは対応ができないことがあります。
※お子様の学部・学科・学年・氏名を記載の上、お問い合わせください。



「京都文教大学【公式】」新アカウント開設（X:旧 Twitter）

#京都文教大学 の公式X（旧 Twitter）アカウントを開設しました。

京都文教大学の「ええとこ」「やってること」をより多くの方に知っていただくため、**#大学の最新情報**、**#学びの様子**や**#イベント情報**を中心に発信していきます。

秋学期からは**#学生からの記事の募集**を開始し、「学生目線の京都文教大学」もたくさんご紹介していく予定です。広報職員や**#学生ライター**がお届けする「出会えてよかった」情報を楽しみにしてください！
みなさまのフォローをお待ちしております。

【アカウント名】 京都文教大学【公式】

【ユーザー名】 @KyotoBunkyoU_PR



QRコード

URL: https://twitter.com/KyotoBunkyoU_PR



ファミリー制度について



京都文教学園では、本学園で学ばれたみなさまと結ばれた『縁』を大切に、さらにその『縁』をつなぎ広めていきたいと願い、ファミリー制度を設けています。従来、中学校・高等学校入学生を対象としておりましたが、2023年度（令和5年度）の入学生より、大学と短期大学にも本制度を広げております。制度の内容等は以下のとおりです。

2024年度（令和6年度）入学試験の受験を考慮しておられる方で、以下に該当する方がおられましたら是非ご検討ください。

制度の内容	以下に該当する入学生に対し、入学金のうち30,000円を減免します。 本学園の建学の精神に深く賛同する者で、次の(1)~(2)いずれかの条件を満たす者。 (1) 3親等以内に本学園設置校の卒業（園）生がいること。 ※3親等の範囲 - 入学生の父母・兄弟姉妹・祖父母・曾祖父母・伯父伯母・叔父叔母 (2) 兄弟姉妹が本学園設置校（園）に在籍していること。
制度対象校	京都文教大学大学院・京都文教大学・京都文教短期大学・京都文教高等学校・京都文教中学校
申込方法	校種により適用条件・手続き方法が異なります。お手数ですが当該校にお問い合わせください。
問い合わせ窓口	京都文教大学 総務部 総務課 電話0774-25-2400



○ 会議・研修

- ・ 5月20日(土) 第1回 役員会、第28回 総会、講演会「未来を生き抜く人を育てる 京都文教大学の社会連携型探究教育」総合社会学部 総合社会学科 森 正美 教授、学科別懇談会(事前申込制・宇治キャンパスにて対面で開催)
- ・ 11月 進路講演会、学科別懇談会

○ 各種事業

(1) 課外活動補助

- ①課外活動補助 宿泊・試合等の顧問引率費、課外活動にかかる経費、共同使用となる物品購入等の費用の補助。
- ②課外活動特別補助 クラブ9団体(1団体上限15万円)への活動費用の補助。
- ③課外活動遠征費 課外活動での遠征にかかる費用補助(バス賃借料等)。今年度は遠征が増える見込のため増額。
- ④行事企画費 学内の指月アワーでのイベント費用、還愚セミナー(災害ボランティア活動)にかかる交通費、宿泊費、消耗品等に対する補助。今年度、コロナ禍前の活動状況に戻る見込のため増額。
- ⑤元氣プロジェクト活動費 学生が自主性と創造性を発揮し大学を活性化するためのプロジェクト「京都文教元氣プロジェクト」の活動費用を補助。今年度は1団体(イーサポ:震災支援活動学生プロジェクト)へ補助。
- ⑥地域連携学生プロジェクト 地域で学び、地域に役立つ視点と地域の実情を学び、地域社会に貢献できる能力を習得するため、京都府南部地域を中心としたフィールドでアドバイザー教員・担当スタッフの支援のもと学部・学科を超えた学生が自主的活動をする課外プロジェクトにかかる費用補助。今年度も5団体「宇治☆茶レンジャー、商店街活性化隊しあわせ工房 CanVas、KASANEO(かさねお)、REACH、KminK」への補助。また、学生が地域をテーマにした新しい課外活動を行う際の活動費への補助。近隣の小学校や京都府下の中学校、高等学校(修学旅行生)より、大学見学や宇治(平等院)での研修活動の際の学生スタッフ活動経費補助、広報物の冊子等作成用ソフト利用料への補助。

(2) 就職進路支援

- ①学習支援室運営費 学習支援室チューター(学生を指導する講師)人件費の補助。
- ②課外講座開講費 就職進路につながる資格講座、公務員講座、就職関連課外講座、大学院進学対策講座等の進路支援講座の費用補助。
- ③学内検定受験料、テキスト代取扱経費補助 学内検定受験料、それにかかるテキスト代等への補助。漢字検定(年2回)・TOEIC IPテスト(年2回)・秘書検定試験(年3回)・国内旅行業務取扱主任試験(年1回)・色彩検定(年2回)・ファッション販売能力検定(年2回)・ファッションビジネス能力検定・日商簿記検定(年3回)・サービス接遇検定(年2回) 就職支援BOOK購入の補助。
- ④就職活動支援 就職支援BOOK購入の補助。
- ⑤就職キャリア支援・企業コーディネーター雇用補助 就職進路に係る企業開拓やプログラムのコーディネートをする企業コーディネーターの業務委託、ならびに学生相談カウンセラーの業務委託補助。
- ⑥SA(スチューデント・アシスタント)雇用費 2年次生以上の在学生在が授業内で下級生に対して、教員指導の下グループワークの進行補助等の業務を行い、社会人基礎力の養成に資する取り組みへの費用補助。
- ⑦国内プログラム参加助成金 学生がグローバル感覚、異文化理解力、リーダーシップ力等を身につけ、社会人基礎力の向上を図る活動として、国内で活動するプログラムに参加する費用を補助。
- ⑧「京都文教ともいきパートナーズ」事業のコーディネート業務委託補助 企業開拓やコーディネートをする企業コーディネーターの人件費の補助。「京都文教ともいきパートナーズ」業務、学生のキャリア支援に係る業務への補助。
- ⑨対流促進事業短期プログラム 浄土宗宗門関係大学である東京圏の淑徳大学、埼玉工業大学との単位互換制度等における東京圏ならびに京都で実施される学外での宿泊や移動を伴うプログラムへの活動補助費。(1人当たり3万円×10名補助)

(3) 学生生活支援

- ①学生相談室補助 学生相談室カウンセラーの人件費を補助。
- ②トレーニングルーム運営費 学内トレーニングルームにおいて、効果的なトレーニングの指導および管理等を行う常駐のトレーナー配置、トレーニングルーム機器の保守・修繕等に係る費用補助。
- ③災害・安全対策費 災害対策の一環として、非常用保存食・飲料水等の購入費用補助。緊急時に備えて在学生分を学内で保存、未使用分の一部を今年度の卒業生へ記念品として贈呈する。また、学内のバイク駐輪場出入口の誘導、向島駅のスクールバス乗り場誘導、学内見回り等の安全対策にかかる費用の一部に対する補助。

(4) 教育環境整備補助

- ①学生教養図書購入費 学術書以外で、学生の教養となる一般図書・雑誌購入にかかる費用の補助。
- ②PCルーム運営費補助 PCルームサポートスタッフの業務委託費の補助。利用者増によりスタッフ1名増員、PC必携化による対応増のため増額。

(5) 奨学費

- ①京都文教大学教育後援会奨学金 家計急変による学費支弁困難学生へ給付を行う就学支援制度。
- ②留学生支援費 本学の提携先である海外の大学(予定:米国、カナダ、中国、韓国に所在する大学)への留学や研修参加に対する費用補助。

(6) 式典・行事補助

- ①卒業式関連経費 卒業式終了後に実施される記念祝賀会にかかる費用補助。祝賀会が中止となった場合は記念品を贈呈。
- ②卒業記念品 卒業生に贈呈する卒業アルバム代に対する補助。

(7) 教育後援会運営費

教育後援会の運営に直接かかる経費に対する補助。(役員会の会議費、ニュースレター印刷費、送料等)

(8) 予備費

※特別積立金(毎年100万円積立)は今年度なし。

○ 特別積立金

- ・ プロジェクト学習・活動支援スペース整備事業 学生のプロジェクト学習やその活動に必要なスペースをつくるための設備購入にかかる補助。また、学生厚生施設(恵光館)での活動も鑑み、施設整備の補助。

2023年度 教育後援会役員会議事録

- 日時 2023年5月20日(土) 午前11時~12時
- 場所 京都文教大学 常照館1階 第2会議室
 - 会長挨拶(大萱会長)
 - 出席者紹介(上野副会長)
 - 近況報告 資料等をもとに森名誉会長、上野副会長より大学の近況報告があった。
 - 2022年度 事業報告(案)・決算報告(案)(緒方会計) 配布資料に従って事業報告(案)と決算報告(案)が行われた。
 - 2022年度 監査報告 監事より決算が正しく行われているとの監査報告あり、事業報告と合わせて拍手により承認された。
 - 役員選出(敬称略)

【会長、副会長】 教育後援会規約第8条および第9条に従って役員会で選出された方の承認
 会長[新任] 山口 辰也 副会長[再任] 勝田 麻友 [再任] 上野 泰弘(事務局長)

【監事】 教育後援会規約第8条および第9条に従って役員会で選出された方の承認
 [新任] 中本 智子 [新任] 西尾 有紀

【幹事】 教育後援会規約第9条2項により会長より委嘱
 [新任] 北村 隆信 [新任] 佐藤 綾 [新任] 牛濱 真

【会計】 教育後援会規約第9条3項により事務局長より推薦された2名に会長より委嘱 [新任] 押領司 哲也(総務部長) [再任] 藤村 典子(総務課会計係)
 - 新旧役員紹介(上野副会長) 役員名簿参照。学校法人京都文教学園の評議員には山口会長が選任される旨、報告された。
 - 2023年度 事業計画(案)、予算(案)(押領司会計) 配布資料に従って事業計画(案)、予算(案)について説明と提案があり、審議の結果、承認された。

以上を持って議事を終了し、今年度、必要であれば役員会を開催することが確認され、12時に閉会となった。

以上



2023年度 教育後援会総会

- 日時 2023年5月20日(土) 午後1時~14時
- 場所 京都文教大学 弘誓館 G102 教室
 - 会長挨拶(大萱会長)
 - 出席者紹介(上野副会長)
 - 近況報告 資料等をもとに森名誉会長、上野副会長より大学の近況報告があった。
 - 2022年度 事業報告(案)・決算報告(案)(緒方会計) 配布資料に従って事業報告(案)と決算報告(案)が行われた。
 - 2022年度 監査報告 監事より決算が正しく行われているとの監査報告あり、事業報告と合わせて拍手により承認された。
 - 役員選出(敬称略)

【会長、副会長】 教育後援会規約第8条および第9条に従って役員会で選出された方の承認
 会長[新任] 山口 辰也 副会長[再任] 勝田 麻友 [再任] 上野 泰弘(事務局長)

【監事】 教育後援会規約第8条および第9条に従って役員会で選出された方の承認
 [新任] 中本 智子 [新任] 西尾 有紀

【幹事】 教育後援会規約第9条2項により会長より委嘱
 [新任] 北村 隆信 [新任] 佐藤 綾 [新任] 牛濱 真

【会計】 教育後援会規約第9条3項により事務局長より推薦された2名に会長より委嘱 [新任] 押領司 哲也(総務部長) [再任] 藤村 典子(総務課会計係)
 - 新旧役員紹介(上野副会長) 役員名簿参照。学校法人京都文教学園の評議員には山口会長が選任される旨、報告された。
 - 2023年度 事業計画(案)、予算(案)(押領司会計) 配布資料に従って事業計画(案)、予算(案)について説明と提案があり、審議の結果、承認された。

以上を持って議事を終了し、14時に閉会した。

総会終了後、「未来を生き抜く人を育てる 京都文教大学の社会連携型探究教育」森 正美 京都文教大学 学長・総合社会学部総合社会学科 教授の講演と「就職進路課とのミニ対談」と題して森学長と就職進路課・代崎係長による対談が開催され、終了後、各学科に分かれ、学科別懇談会が教職員とともに開催された。

以上



← 総会

学長による講演会 →

2023年度 教育後援会役員名簿

	役職	氏名	備考
新役員	名誉会長(再)	森 正美	学長
	会長(新)	山口 辰也	臨床心理学科(2年次)
	副会長(新)	勝田 麻友	臨床心理学科(3年次)
	副会長(再)	上野 泰弘	事務局長
	幹事(新)	北村 隆信	こども教育学科(2年次)
	幹事(新)	佐藤 綾	総合社会学科(2年次)
	幹事(新)	牛濱 真	臨床心理学科(2年次)
	監事(新)	中本 智子	総合社会学科(3年次)
	監事(新)	西尾 有紀	臨床心理学科(2年次)
	会計(新)	押領司 哲也	総務部長兼総務課長
会計(再)	藤村 典子	総務課員	
旧役員	会長	大萱 雅弘	教育福祉心理学科(卒)
	幹事	友川 佐貴子	教育福祉心理学科(卒)
	監事	青山 満規子	総合社会学科(卒)
	監事	村山 恵	総合社会学科(卒)
	会計	緒方 秀敏	総務部長

2023年度 大学役職者一覧

役職	氏名	役職	氏名
学長	森 正美	副学長(教学・IR推進担当)	河本 直樹
学生部長	平尾 和之	教務部長	濱野 清志
健康管理センター長	鵜飼 正樹	臨床心理学研究科長	黒宮 一太
総合社会学部部長	香川 克	総合社会学科長	井上 嘉孝
臨床心理学部部長	本山 益子	臨床心理学科長	橋本 祥夫
こども教育学部部長	澤 達大	こども教育学科長	遠藤 央
ともいき基盤教育センター長	松田 真理子	図書館長	中島 恵子
心理臨床センター所長	松田 美枝	ともいき研究推進センター長	
学生相談室長		産業メンタルヘルス研究所長	
地域協働研究教育センター長		臨床物語学研究センター長	平尾 和之

2022(令和4)年度 京都文教大学教育後援会 決算書

収入総額	52,736,107	円
支出総額	42,303,367	円
差引残高	10,432,740	円

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1 会費	37,400,000	38,140,000	△ 740,000	@20,000×1,907名分
2 受取利息	200	246	△ 46	普通預金上・下半期利息
3 雑収入	0	6,000	△ 6,000	卒業アルバム購入
4 繰越金	14,589,861	14,589,861	0	2021(令和3)年度 繰越金
計	51,990,061	52,736,107	△ 746,046	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1 課外活動補助	4,080,000	2,253,798	1,826,202	課外活動補助 課外活動特別補助 課外活動遠征費 行事企画費 元気プロジェクト活動費 地域連携学生プロジェクト
2 就職進路支援	14,400,000	10,404,457	3,995,543	学習支援室運営費 課外講座開講費 学内検定実施補助 就職活動支援 就職キャリア支援・企業コーディネーター補助 SA雇用費 国内プログラム参加助成 企業コーディネーター雇用補助 対流促進事業短期プログラム
3 学生生活支援	6,220,000	5,575,128	644,872	学生相談室補助 トレーニングルーム運営費 災害対策 学生昼食補助費
4 教育環境整備補助	7,500,000	7,429,781	70,219	学生教養図書購入費 PCルーム運営費補助 学生貸し出し用パソコン購入費
5 奨学金	11,700,000	11,310,000	390,000	就学支援給付金 留学生支援費 (コロナ禍によりオンラインによる語学研修プログラム参加支援)
6 式典・行事補助	3,600,000	3,321,040	278,960	卒業式関連経費 卒業記念品
7 特別積立金	1,000,000	1,000,000	0	設備整備積立金
8 教育後援会運営費	1,070,000	1,009,163	60,837	会議費 印刷費 事務費 雑費
9 予備費	2,420,061	0	2,420,061	予備費(新型コロナ対策関連費用含む)
計	51,990,061	42,303,367	9,686,694	

令和5年3月31日

上記のとおり相違ないことを認めます。

京都文教大学教育後援会 監事 青山 満規子 監事 村山 恵

2022(令和4)年度 京都文教大学教育後援会 特別積立金決算書

収入総額	11,989,959	円
支出総額	-	円
繰越金	11,989,959	円

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
2022(令和4)特別積立金	1,000,000	1,000,000	0	設備整備積立金
利息	1,000	201	799	定期預金利息
繰越金	10,988,959	10,988,959	0	2021(令和3)年度繰越金
計	11,989,959	11,989,160	799	

令和5年3月31日

上記のとおり相違ないことを認めます。

京都文教大学教育後援会 監事 青山 満規子 監事 村山 恵

2023(令和5)年度 京都文教大学教育後援会 予算書

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 会費	36,480,000	37,400,000	△ 920,000	②20,000×1,824名分 ※2023年5月1日現在の学生数1,820名に対し、休学・退学者による減収を見込み、95%の人数で設定
2 受取利息	200	200	0	
3 繰越金	10,432,740	14,589,861	△ 4,157,121	2022年度 繰越金
計	46,912,940	51,990,061	△ 5,077,121	

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 課外活動補助	5,215,000	4,080,000	1,135,000	課外活動補助 課外活動特別補助 課外活動遠征費 行事企画費 元気プロジェクト活動費 地域連携学生プロジェクト
2 就職進路支援	14,400,000	14,400,000	0	学習支援室運営費 課外講座開講費 学内検定実施補助 就職活動支援 就職キャリア支援(学生相談カウンセラー・企業コーディネーター補助) SA雇用費 国内プログラム参加助成 企業コーディネーター雇用補助(京都文教ともいきパートナーズ事業) 対流促進事業短期プログラム
3 学生生活支援	6,650,000	6,220,000	430,000	学生相談室補助 トレーニングルーム運営費 災害・安全対策費
4 教育環境整備補助	5,600,000	7,500,000	△ 1,900,000	学生教養図書購入費 PCルーム運営費補助
5 奨学金	10,200,000	11,700,000	△ 1,500,000	就学支援給付金 留学生支援費
6 式典・行事補助	3,300,000	3,600,000	△ 300,000	卒業式関連経費 卒業記念品
7 教育後援会運営費	1,070,000	1,070,000	0	会議費 印刷費 事務費 雑費
8 予備費	477,940	2,420,061	△ 1,942,121	予備費
計	46,912,940	50,990,061	△ 4,077,121	

2023(令和5)年度 京都文教大学教育後援会 特別積立金予算書

収入総額	11,990,160	円
支出総額	6,000,000	円
繰越金	5,990,160	円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
2023(令和5)特別積立金	0	1,000,000	△ 1,000,000	
利息	1,000	1,000	0	定期預金利息
繰越金	11,989,160	10,988,959	1,000,201	2022(令和4)年度繰越金
計	11,990,160	11,989,959	201	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
プロジェクト学習・活動支援スペース整備事業	6,000,000	0	6,000,000	設備費
計	6,000,000	0	6,000,000	

京都文教大学教育後援会規約

第1章 総則

(名称)
 第1条 本会は、京都文教大学教育後援会と称する。
 (本部)
 第2条 本会は、京都文教大学内に置く。
 (目的)
 第3条 本会は京都文教大学(以下「大学」という。)の方針に則り本学の発展に寄与するとともに、大学と学生及び家庭との連携を密にし、教育事業を援助することを目的とする。
 (事業)
 第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 (1) 大学の教育、研究に対する協力
 (2) 大学の教育研究環境の整備に対する協力
 (3) 学生の研究助成並びに経済援助
 (4) 会員の精進
 (5) その他本会の目的達成に必要な事業

第2章 会員、会費及び事業費

(会員)
 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
 (1) 正会員 大学に在学する学生の保護者又はこれに代わる者
 (2) 特別会員 本会の趣旨に賛同する者で、役員会の推薦に基づき総会で承認された者
 (会費)
 第6条 正会員は次の会費を納入するものとする。
 年会費 年額20,000円 春・秋学期の半期ごとに10,000円を納入する。
 (事業費)
 第7条 本会の事業費は、会費、寄付金その他の収入をもって充てる。

第3章 役員

(役員)
 第8条 本会に次の役員を置く。
 (1) 会長 1名
 (2) 副会長 2名
 (3) 幹事 若干名
 (4) 監事 2名
 (5) 会計 2名
 2. 副会長のうち1名は、大学事務局長がこれに当る。
 大学事務局長不在の場合は、総務部長がこれに当る。
 (役員の選出)
 第9条 会長、副会長及び監事は、役員会において選出し、総会の承認を得るものとする。
 2. 幹事は会長が委嘱する。
 3. 会計は、大学事務局長の中から大学事務局長の推薦にもとづき会長が委嘱する。
 大学事務局長不在の場合は、総務部長の推薦にもとづき、会長が委嘱する。
 (任期)
 第10条 会長の任期は2年とし、その他の役員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
 2. 役員に欠員が生じた場合の補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(職務)
 第11条 会長は、本会を代表し、これを掌理する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその任務を代行する。
 3. 幹事は役員会に出席し、本会の運営及び審議に参画する。
 4. 監事は、会計を監査する。
 5. 本会の事務は大学事務局に委嘱する。
 (名誉会長)
 第12条 本会に名誉会長を置く。
 2. 名誉会長は大学学長とする。
 (顧問)
 第13条 本会に顧問若干名を置くことができる。

第4章 会議

(総会)
 第14条 本会の定期総会は、毎年1回5月に開催するものとし、必要がある場合臨時総会を開催することができる。
 2. 総会は、会長がこれを招集し、その議長となる。
 3. 総会の議決は、出席会員の過半数の同意によって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
 第15条 定期総会においては、次の事項を附議する。
 (1) 予算及び事業計画の議決並びに決算及び事業報告の承認
 (2) 会長、副会長及び監事の承認
 (3) 本規約の改廃
 (4) その他役員会から決定した重要事項
 (役員会)
 第16条 役員会は、第8条の役員をもって組織する。
 2. 役員会は、必要の都度会長が招集し、議長となる。
 3. 役員会は、役員の過半数の出席をもって成立するものとし、議決は出席会員の過半数の同意によって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
 第17条 役員会は、次の事項について審議する。
 (1) 予算案及び事業計画、決算及び事業報告
 (2) 会長、副会長及び監事の選出
 (3) 臨時総会に関する事項
 (4) 特別会員の推薦
 (5) 本規約の改廃に関する事項
 (6) 総会に提出する議案
 (7) その他本会運営上必要な事項

第5章 雑則

(会計年度)
 第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月末日に終る。
 (規約の改廃)
 第19条 この規約の改廃は、役員会の議決を経て総会の承認により行う。

付則 この会則は、平成8年4月1日から施行する。
 この会則は、平成28年4月1日から施行する。

京都文教大学教育後援会奨学金規程細則

(趣旨)
 第1条 この細則は、京都文教大学教育後援会奨学金規程に基づき、その施行に関して必要な事項を定めるものとする。
 (経済的支援を目的とした奨学金)
 第2条 本条から第13条は、不測の事態が生じたために、学費の支弁が著しく困難となり、退学又は休学を余儀なくされる学生に対し、教育後援会の支援により、学業の継続を支援することを目的とする奨学金について定める。
 (給付金額及び期間)
 第3条 この奨学金の給付金額は、当該学期の授業料及び教育充実費相当額の2分の1とする。
 2. 給付期間は、春学期又は秋学期の半年単位とし、引き続き奨学金を希望する者は、改めて所定の手続きをしなければならない。
 (給付対象)
 第4条 この奨学金は、京都文教大学学部生(科目等履修生・研究生を除く)で、在学中に選考基準に該当する者に限り、2回を限度に給付の対象とする。ただし、最終修業年限を超過した者は原則として対象としない。
 (採用数)
 第5条 奨学生の採用数は教育後援会が毎年度定める寄付金の範囲内で決定する。

(募集)

第6条 受付締切日は各学期の授業料及び教育充実費等の徴収日に間に合うよう別途定める。
 (申請手続)
 第7条 奨学金を希望する者は、次の書類を学生課に提出しなければならない。
 (1) 志願書(所定の書式)
 (2) 源泉徴収票又はこれに準ずる書類
 (3) 不測の事態を証明できる書類
 (選考基準)
 第8条 この奨学金給付の選考基準を以下の通りとする。
 家計急変の事由が生じた事により、その後1年間の家計基準が給与所得者については84万円以下、給与所得者以外については355万円以下であることが確定となる者。ここでいう「家計基準」の額は、学生本人の父母又はこれに代わって家計を支えている者(主たる家計支持者一人)の収入金額をいい、「給与所得者」にあつては源泉徴収票の支払金額とし、「給与所得者以外」にあつては確定申告等の所得金額とする。
 2. 困窮度、学力・人物・健康については日本学生支援機構の選考基準による。
 (選考)
 第9条 選考は、学生課で書類を審査の上、学生委員会の委員が直接面接を行い、事情を聴取し、人物・健康・学費支弁の困難度・学業成績等からその資格を検討し、学生委員会の審議を経て、学長が決定する。
 (通知及び給付)
 第10条 採用が決定した者に対しては、本人及び連帯保証人に文書をもって通知する。
 2. 奨学生は次の書類を提出する。
 (1) 誓約書(付、受領書)
 3. 奨学金の給付は授業料及び教育充実費との相殺をもって行う。
 (給付取消)
 第11条 奨学生が、次の各号に該当するときは、給付決定を取り消すことができる。
 (1) 奨学生が、給付を必要としなくなった場合。
 (2) 退学・除籍により学籍を失った場合。
 (3) 停学その他処分を受けた場合。
 (奨学金の返還)
 第12条 申請書類等に虚偽の記載事実が認められた場合は、給付を取り消し、奨学金の返還を求めることができる。
 (所管)
 第13条 第2条から第12条に関する事務は、学生部学生課が行う。
 (留学支援を目的とした奨学金)
 第14条 本条から第24条は、留学支援を目的とする奨学金について定める。
 (留学の種類別)
 第15条 この規程の対象となる留学形態は以下の通りとする。
 (1) 交換留学
 本学在学中の身分のまま、交換留学協定先の大学にて1あるいは2学期間を学修する留学
 (2) 短期留学
 概ね3週間から1ヶ月までの語学研修と現地文化体験を目的とした留学
 (3) 派遣留学
 本学を休学し、協定先の大学にて1あるいは2学期間を学修する留学
 (対象校・給付金額・採用人数等)
 第16条 この奨学金の対象校・給付金額・採用人数等は、以下の通りとする。

	交換留学	短期留学	派遣留学
対象校	湖西大学校	トンプソン・リバース大学 マギル大学、湖西大学校	リンフィールド大学
給付金額	上限20万円	上限10万円	上限30万円
採用人数	教育後援会が毎年度定める範囲		
応募期限	渡航日の1ヶ月前	帰国後の翌々月中	渡航日の1ヶ月前

第17条 この奨学金は、京都文教大学学部生(科目等履修生・研究生を除く)で、在学中に次条選考基準に該当する者に限り、1回を限度に給付の対象とする。ただし、最終修業年限を超過した者は原則として対象としない。
 (選考基準)
 第18条 この奨学金給付の選考基準を以下の通りとする。
 (1) 交換留学
 現地の言語・文化に深い興味関心を有し渡航中は訪問国の人々と交わるとともに、訪問国の伝統と文化を尊重できる学生であること。加えて、現地教員・現地学生・ルームメイトと良好な関係を築き、真剣に学修に励むことが事前面接時に確認できること
 (2) 短期留学
 現地教員・クラスメート・ホームステイ先の家庭と良好な関係を築き学修に励んだ後、修了証書を得るとともに、帰国後に適切な内容の参加報告書を提出できる者
 (3) 派遣留学
 現地の言語・文化に深い興味関心を有し渡航中は訪問国の人々と交わるとともに、訪問国の伝統と文化を尊重できる学生であること。加えて、現地教員・現地学生・ルームメイトと良好な関係を築き、真剣に学修に励むことが事前面接時に確認できること
 (申請手続)
 第19条 奨学金を希望する者は、次の書類を学生部国際交流オフィスに提出しなければならない。
 (1) 申請用紙
 (2) 留学に係る志望動機を記した書類
 (3) 入学許可書(交換留学・派遣留学のみ)
 (選考)
 第20条 選考は、国際交流委員会の委員が個別面接を行い、留学動機等を精査後、国際交流委員会の審議を経て、学長が決定する。
 (通知及び給付)
 第21条 採用が決定した者に対しては、本人に文書をもって通知する。
 2. 交換留学及び派遣留学の奨学生には次の書類を提出させる。
 (1) 誓約書(付、受領書)
 (2) 振込登録書
 (給付取消)
 第22条 奨学生が、次の各号に該当するときは、給付決定を取り消すことができる。
 (1) 奨学生が、留学先予定受入期間の終了を待たず帰国したとき。
 (2) 奨学生が、現地受入校により退学・除籍の処分を受けたとき。
 (3) 真剣に学修に励んだことが、帰国後の報告書、あるいは現地指導教員からの報告に認められないとき。
 (4) 退学・除籍により学籍を失った場合。
 (5) 停学その他処分を受けた場合。
 (奨学金の返還)
 第23条 申請書類等に虚偽の記載事実が認められた場合は、給付を取り消し、奨学金の返還を求めることができる。
 (所管)
 第24条 第14条から第23条に関する事務は、学生部国際交流オフィスが行う。
 (改廃)
 第25条 この細則の改廃は、教育後援会役員会の意向に基づき、当該委員会、教授会及び大学運営会議の審議を経て、学長の意向を受けて理事長の決裁により行う。

付則 この細則は、平成26年4月1日から施行する。
 平成27年4月1日改正(第9条・第13条・第20条・第24条・第25条)
 平成29年4月1日改正(第16条・第19条・第20条・第24条)
 平成31年4月1日改正(第19条・第24条)
 令和4年4月1日改正(第10条・第16条)

本学ではさまざまな角度から学生をサポートする奨学金制度を設けております。
 京都文教大学ホームページにてご案内しておりますのでご確認ください。

京都文教大学HP → 「キャンパスライフ」 → 「奨学金」

学生生活・奨学金・留学・学費納入に関するご相談・お問合せ先
 学生課 電話：0774-25-2497